

平成29年度 自己評価アンケートまとめ
 社会福祉法人ほどがや ゆめっことつか

職員による自己評価(抜粋)

スペース的には十分な広さではあるがエレベーターなしの2階物件であること、ワンルームである事など設備的に不十分な面も見られる。ハード上の問題で身体のお子さんの受け入れられていない。職員配置は2:1~1.5:1は必ず配置されていてかなり手厚い。地域との関わりに関しては近隣の施設のお祭りに参加させてもらう程度で障害の無い子どもさんと積極的関わる活動は行なえていない。看護師がいないため医療的ケアが必要なお子さんは受け入れていない。活動内容に関しては長期休みや土曜日は外出を実施し、特に学校の長期休暇は小集団で電車など公共交通機関を利用しながら外出をしたり夏休みは市営プールに行くなどしている。避難訓練は全ての児童が参加することが出来ていない。

保護者による評価(抜粋)

- ・放課後児童クラブや児童館との交流や障害の無い子どもと活動する機会については無くても良いと思っています。
- ・満足しているがすべて送迎してもらえるとより助かる。



事業所内での分析

<p>【共通点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2階物件で且つエレベーターが設置されていないためバリアフリーに配慮されているとは言い難い。 ・緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症マニュアルを家族に確実に周知、いつでも見れる状態にしていない。 ・障害がない子どもとの交流が行なえていない。 	<p>【相違点】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・苦情について対応の体制を整備するとともに周知説明し苦情があった場合に迅速にかつ適切に対応しているかに関してはご家族の回答として30パーセントの方がどちらともいえないに○をされていた。体制については契約時に説明を行なっていますが浸透していない事も考えられます。 ・そしてご家族からご意見に対して迅速に対応しているつもりになっているだけで実際は対応が遅かったり嫌な思いをしている方がいる可能性が考えられます。
---	--

事業所の強み

事業所の改善点

<ul style="list-style-type: none"> ・ハード面では広いスペース ・職員配置が手厚い事で子どもの状況に応じて個別の対応を行なう事が出来る。 ・母体の地域活動ホームと連携する事で一時ケアやショートステイ、基幹相談に絡める等幅広く家庭支援が行なえる。 ・パートの職員を含め職員の入れ替えがほとんどない為子供たちのことを小さい頃から知っていることで支援に一貫性を持って関わる事が出来る。 	<ul style="list-style-type: none"> ・保護者による評価のご意見の欄にほとんど意見が記載されていなかった事(計2件)、且つ回収率が63%と云う低いものになってしまった。 ・情報発信力が弱く母体のホームページに住所と営業時間が記載されている程度。 ・避難訓練に関しては実際6曜日全てに行なう事は利用者の安全面を考えるとかなり困難であったため全員参加では行なえていない。
--	--

事業所の改善への取り組み

今回の評価表を通して家族からの意見を頂けなかった事に対して、目を向けていく。回収率が低く、意見の欄にほとんど何も記載されない事に関しては事業所に何か意見をしてみようと思える関係が構築できていない可能性が考えられます。個々の項目を見ると「共通理解が出来ている」「保護者に対して面談や助言の支援が行なわれている」等の評価をして頂いているが一步踏み込んだところでは関係が出来ていないのかもしれませんが。基本的には今までの関係作りを基盤として家族会の検討、ホームページにてもう少し事業所の理念や考えを理解してもらい家族ともしっかり意見交換が行なえるようにしていく。周知がしっかりとできていない事柄に関してはホームページを活用してマニュアルなどを発信していく。避難訓練に関しては職員数を増やす事で全ての曜日実施していく。

アンケート配布数	アンケート回収数	回収率
30	19	63.3%